



図① 相互作用が起きる仕組み

薬物間相互作用を避けるために…

このような薬物間相互作用を避けるために、お薬手帳が非常に大切な役割を持ちます。お薬手帳とは、いつ、どこで、どんな薬が処方されたのかを記録しておく手帳のことです。お薬手帳には自分自身の情報(氏名、生年月日、既往歴など)を記載し、医療機関から処方されたお薬についての情報を記載します。お薬手帳のメリットとして、複数の医療機関から処方された薬を把握することにより、薬の飲み合わせ・重複の確認ができることや、災害・突発的な入院などの緊急時に治療の経緯・アレルギー歴など自分の情報が正確に伝わるなどが挙げられます。

〈お薬手帳を正しく使う上でのポイント〉

- ・一人一冊にまとめて管理しましょう
- ・外出時には必ず持ち歩きましょう

薬物間相互作用は様々な原因やメカニズムがあるため注意が必要です。お薬手帳を活用して、薬物間相互作用の発生を防ぎましょう。



《著者紹介》

東海大学医学部附属病院薬剤科
肝臓病教室担当
廣川岳志
祖父江佳奈
進藤悠果

